

障害者支援施設ゆうとぴあ恵愛 第1回地域連携推進会議 議事録

日 時:令和7年7月1日(火)14:25~16:15

場 所:ゆうとぴあ恵愛4階会議室及び全館訪問

出席者:(委 員)津島市障害福祉課職員、津島市基幹相談支援センター職員、地域民生委員

NPO 法人代表理事、利用者家族代表、利用者代表 各1名

(事務局)施設長、施設長補佐兼主任指導員、指導員

議 題

1 施設長あいさつ

- ・今年度から義務化になったこの会議に委員就任及び会議参加に感謝します施設の透明性担保のためにも大切であり、施設内訪問も年1回はお願いしますが、忌憚のない意見をお願いし、より良い地域に信頼される施設づくりにしていきたいと思っています

2 出席者紹介

出席者各自、所属等含めての自己紹介を実施(出席者9名)してもらう

3 議 題

(1) ゆうとぴあ恵愛利用者の状況の変遷～障害等の状況～(事務局より説明)

- ・平成11年に身体障害者療護施設で事業開始も法律変更で各種障害受け入れとなりました
- ・事業は生活介護・施設入所支援・短期入所・地域活動支援センター実施しています
- ・障害手帳所持では、身体55名、知的34名、精神8名で身体と知的重複23名、身体と精神重複が5名、身体のみの方は26名です

(2) ゆうとぴあ恵愛実施事業説明～職員体制と経営状況含む～(事務局より説明)

- ・介護・看護の体制は 1.5:1、看護師4名・介護職員34名、PT はパート2名で支援しています
- ・給食は直営で行い、嗜好調査や季節感を利用者の状態別に加工し、経管栄養者も12名ほどみえます
- ・経営状況では、6年度本体利用率は 93.3%で前年とほぼ同じで、収益は修繕や備品の更新等に充当しています。また、詳細の決算等は、ホームページの記載を見ておいてください
- ・別に配布の「事業報告」に基づき説明する…主な説明項目は下記のとおりです

≪事業報告書説明項目≫

- ① 事業内容(上記議題1参照)
- ② 市町村別状況(20市区町村から入所)
- ③ 年齢状況(平均56.7歳、65歳以上24人)
- ④ 入退所状況(ともに6人)
- ⑤ 在所期間(平均10年4月と長い)
- ⑥ 年間行事(3月に家族交流行事実施)
- ⑦ 短期入所(1日3.2人)
- ⑧ 地域活動センター(5市町、1日12.5人利用)等

(3) ゆうとぴあ恵愛の各種取り組み状況(事務局より説明)

① 人権面から～虐待防止及び身体拘束への取り組み～

- ・虐待防止、身体拘束、感染症、事故防止など委員会で意識向上や分析、研修など実施しています
- ・虐待防止では、チェックリストでの振り返り実施や身体拘束では、「緊急性」「一時性」「非代替性」を基に嘱託医を入れた検討で定期見直しもして減少に向けています

② 施設内事故の発生状況

- ・別紙「令和6年度施設内事故の発生状況」に基づき説明を行いました

③ 苦情等の状況

- ・令和6年度、苦情として取り上げるものはありませんでしたが、日頃からご家族や利用者の方等との会話や些細なことでも取り上げて対応できている結果と思い、引き続き気を付けていきます

④ 感染症対策及び防災等～BCp(事業継続計画)を含む～

- ・令和6年度は、7月に新型コロナ、12月にインフルエンザの集団発生で、入所・短期入所に制限をかけ、迷惑をかけました
- ・感染症マニュアルも感染症専門家の助言をもらい、全面改正して運用開始したところです
- ・防災面では、毎月避難や通報、初期消火など各種訓練を行い、感染症も併せ毎年 BCP も見直しています

⑤ 地域及び法人内等との関係

- ・地域関係では、高校や幼稚園児の作品展示とその見学、社協中心の催しなどに参加して施設理解に努めています。また、秋には町内神輿がみえ交流しています
- ・ボランティアは、コロナ禍が過ぎ、高齢化等で日常活動はなくなってきていますが、夏休みには中部善意銀行の高校生ボランティアが生産活動やふれあいで活動されています。日常での活動者を社協さんなど通じてお願いしているところです
- ・法人として、当嘉祥福祉会は他に特別養護老人ホーム3、養護老人ホーム1、軽費老人ホーム1、老人グループホーム3を運営しており、法人内での会議を施設長始め各職種で行い連携を取っています
- ・今年の2月には、当法人の他、関連する3法人で「災害時等相互連携協定」を結び、災害や感染症発生時に物品や人の協力体制を図ることとしました

4 各委員からの意見や質問及び回答

・委員1…職員がどこも不足していて、この施設も外国人が数人見えるが、言葉・意思疎通等はどうか
事務局…現在ベトナムの特定技能の職員が6人で、日本語レベルは N3 で、理解はでき、意思疎通も言葉の使い方できています。現在このうち4人は介護実務者研修受講中で、今年度介護福祉士試験を受ける予定です。

委員2…自分も講習会開催し、外国人の人で特定技能の人は、しっかりしているし頑張っていると思う。日本語検定も N3は会話は成立すると思います。

委員2…この施設の研修等の状況はどうか

事務局…感染症や虐待研修では昨年、複数回外部専門家を招き研修を行い全員が受講をした。今年度も新たにメンタルヘルス研修、アンガーマネジメント研修、移乗と腰痛予防など外部講師での研修を計画しています。また、医療ケア必要者への対応として、昨年から喀痰吸引資格者と重度障害者対応への強度行動障害者資格を毎年各2人とするようにしています。特に感染症研修では、全館巡回もしていただき、マニュアルの全面改正もしました。

委員3…開所当初から利用者、職員も長いことから、強い言葉も気になるがどうか

事務局…長いことから、以前からの言葉が一般的になっていることもありますが、措置から契約への変化や時代変化もあり、職員は「お世話」の対価としての報酬となっていることを踏まえ、現在スピーチロックも意識し、「言葉の言い換え表」を作成して、いいサービス提供ができるようにしたいと思っています。

委員4…地域移行を国も進めており、この施設では平均入所期間が10年余りであるが、どんな状況となっているか

事務局…数年前までグループホームや就労支援 B 型事業所への移行は数件ありましたが、身体障害だけでなく、知的・精神・難病等の受け入れとなってからは、医療ケアの必要者も増え、重度化になっているため移行希望の対象者もいない状況となっています

委員5…身体拘束もなくせないと言われているが、どのようにしているか

事務局…知的障害での発作や鼻腔栄養の管抜き、ベッド上の多動などどうしても状況により必要な場合があり、委員会での検討や囑託医・職員で3か月に一度の見直しやご家族へは、6か月に一度や変化時に説明と承諾をいただいています。複合の重度障害の方が多く、ゼロとはいきませんが、減らすべく努力をしているところです。

委員6…自分の親族でも障害を持った人があり、大変さがわかるため、日々の仕事に対して感謝したい。

事務局…ありがとうございます。今後も安心して安全な運営に努めます

《施設訪問》15:45～16:15

4階地活センター ➡ 3階利用者生活フロアー ➡ 2階利用者生活フロアー

➡ 1階浴室・食堂 の順に訪問

意見…

- ・ 3階と2階では対象者が違うためか、雰囲気の違い、3階の方が活気を感じる。
コメント…自立度の違いで、2階は重度者で医療ケア者が多く、看護師室も2階であるため
- ・ 開設時の状況から、廊下が広くされていると感じる
- ・ 居室は個室・2人・4人部屋で、ベッド不可能な方にはマットなどで安全に配慮してある
- ・ 浴室は、初めて見たが、種類も多く、対象者に必要なものとなっている
- ・ 週間献立表を見て、メニューが豊富で、週3日選択食であり、朝はパン食もあり、委員も試食したい

* 委員である民生委員から、今年民生委員の改選であり、自分も交代するが、次期民生委員にもこの会議の委員就任は話してるため、施設から後日依頼をお願いしたい

* 次回の会議は令和8年2月頃を予定しますが、改めて日程調整させていただきますのでよろしくお願いいたします。本日は、予定時間を超えましたが貴重なご意見等ありがとうございました。

令和6年度 施設内事故の発生状況

1 事故の発生件数及び発生時間

- 延145件発生しましたが、県及び市町村へ報告すべき重大事故の発生は0件でした。
- 発生時間帯では、10～14時が44件（30%）、次に6～10時、14～18時が各36件（25%）であり、夜間から早朝にかけては少ない状況でした。

2 事故の発生場所

- 発生場所では、居室内が56件（39%）と最も多く、次にホールが21件（14%）、食堂14件（10%）、廊下・洗面所が12件（8%）でした。
- 発生場所から見えるものとして、利用者の方にあつては、①自身で行おうとして②できると思つて③障害の特性から…が考えられ、職員にあつてはダブルチェック不足や集中力が原因と分析され、一層の注意喚起を促しているところです。職員が個々の障害特性理解の向上、周りへの注意力アップや安心して依頼される対応を意識することや利用者の方自身で行える行為の理解を深め、依頼してもらえる環境を強化していくことが必要と考えられます。

3 事故の内容

- 事故の内容では、転倒・転落が58件（40%）と最も多く、次に誤嚥が16件（11%）、暴力・他害13件（9%）となり、他に配膳間違い・ケア動作中の事故などがあげられています。
- 転倒・転落では、車いすから落ちたり、ベッドから落ちたものを拾おうとしてや、靴などを履こうとして、また車いす⇄ベッドへの移乗時などでした。また、暴力・他害では言語が十分発することができず手が出るケースや障害特性から他者に対して急に手などが出る行為も見られました。いずれも、職員の見守りがない場面・時間での行為が多いのが特徴でした。
- 事故については、年間5回以上の利用者の方が2人あり、内容は他害行為と水の過度な摂取による誤嚥であり、障害特性も考慮し、施設内での検討や嘱託医及びご家族にも相談しつつ対策をしているところです。